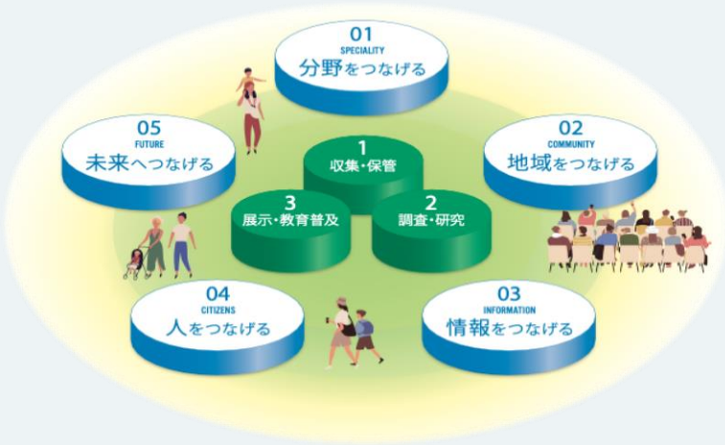
千葉県立中央博物館実施計画の概要

千葉県立中央博物館みらい計画【令和６年３月策定】

基本コンセプト
多彩な特徴をもつ半島ちばの未来を切り拓く
目指す姿
１）千葉の自然と歴史、文化を見つけ、伝え、残す博物館
２）千葉から世界に拓く博物館
大切にする価値観
１）資料やフィールド活動を大切にする
２）中央博物館からつながりの輪を広げる
取組みの方針
取組の方針を「つながり」の視点で5つに整理し、収集保管、調査研究、展示教育普及などの博物館活動を行っていく



実施計画（令和７年度～令和１０年度）「千葉県立中央博物館みらい計画」を実現するため、今後４年間で取組むべき事業をまとめたもの

総合指標

指標	現状値	目標
認知度	本館 **23.4%** 海博※ **6.1%**	本館 **30%** 海博※ **10%**
年間利用者数	入館者数 本館 **96,381人** 海博 **60,118人** （R5年度） ウェブアクセス数 本館 **203,613件** 海博 **55,463件** （R3～5年度平均）	入館者数 本館 **146,000人** 海博 **61,000人** ウェブアクセス数 本館 **240,000件** 海博 **66,000件**

※海博：分館海の博物館

重点事業１ 千葉の海の魅力を探り、国内外に発信

〇千葉の海の魅力を探る調査研究の推進と発信
・東京湾の調査研究と成果発信
・海藻利用の調査研究と成果発信
・海の幸に関する展示開催　　など

〇千葉の海をフィールドとした観察会や見学会の開催
・房総の海辺の生物や地形、文化等の観察会の開催
・勝浦の磯を中心とした海洋生物等の観察会の開催

勝浦の磯の海洋生物の観察会

重点事業２ 世界とのつながりを意識した活動

〇生物多様性などに関する研究の推進と発信
・県内各地の動植物の調査研究と成果発信
・生態園の環境や動植物の調査研究と成果発信

〇世界の博物館等との連携・交流
・海外の博物館等との交流事業の開催
・海外の機関との研究交流

〇ウェブサイト、展示等の多言語化
・ウェブサイト表現の平易化と英文の併記
・展示パネル等の表現の平易化と英文の併記
など

〇千葉県と世界のかかわりについての研究
・海外の学問やお茶、海藻など、千葉と世界のかかわりについての調査研究と成果発信

韓国国立民族学博物館との交流事業

重点事業３ 他機関との連携強化

〇様々な主体との連携
・君津市等と連携したﾌｨｰﾙﾄﾞ・ﾐｭｰｼﾞｱﾑ事業の実施
・県内各地の観察ガイドマップの作製
・様々な主体と連携したイベント実施
など

〇青葉の森公園周辺施設との連携強化
・公園で１日過ごせるプログラムの実施
・県立図書館との連携事業の実施
・「あおばまつり」等への参加　　など

〇博物館や研究機関等との連携強化
・国立歴史民俗博物館との連携強化
・東京大学千葉演習林との連携強化
・市町村博物館との共同研究等の実施
など

民間商業施設でのイベントのようす

重点事業４ デジタル技術の活用

〇博物館資料情報のデジタル化とウェブコンテンツの充実
・資料情報のデジタル化と公開
・ウェブコンテンツの充実
など

〇外部システムとの連携
・国内外のネットワークと連携した資料情報発信
・研究者間の交流促進　など

〇オンラインによる行事の実施
・オンライン講座や講演会の開催
・海外機関とのオンライン・シンポジウムの開催

〇展示等におけるデジタル技術の活用
・デジタル資料情報を展示に活用
・SNS等による研究成果等の発信

ナウマンゾウ骨格３Dデータ

重点事業５ 資料を未来に引き継ぐ

〇収集資料の標本化・整理作業及び登録の推進、地域館資料の集約・保管
・収集資料の標本化・整理作業の推進
・資料データベースへの登録推進　など

〇資料管理体制の強化
・収蔵資料の管理体制強化
・職員の資料保存スキルの向上

〇資料救済ネットワーク拠点機能の強化
・県内各地の資料情報の集約
・全国規模の資料救済システムとの連携
・資料継承に関する相談受付
など

東日本地震被災標本のレスキュー